

## 薬局内の整理整頓～くすりの迷子はもうさせない～

武蔵小杉店

○山崎祐太郎

伊藤ともえ 南幸子 中川絵美子 入澤将人

### 【はじめに】

薬局内が散乱していると、調剤ミスにつながりやすく、調剤に要する時間も長くなるといわれています。武蔵小杉店では、薬剤が不動態在庫となりやすく、薬剤の返品、移管することで、棚番の空きが発生します。その空いている棚に新たな薬剤を配置するため、配置が不規則になっています。

実際、調剤する際、探すのに時間がかかり調剤ミスが起きやすいと感じました。

そこで今回、薬局内の棚番を整理することで調剤ミスが減少するよう検討・実施しました。

### 【方法】

- ① Excel を使用して棚番表を作成する。
- ② 配置換えを行い、在庫管理システム(ENIF)を書き換える。
- ③ 薬品名を記載したマグネットを作成する。
- ④ 薬効ごとの引き出しに五十音順に貼付する。

### 【結果】

在庫の配置換えしたことで薬剤の在庫するスペースも確保できました。

職場スタッフの声：「調剤しやすくなった」「先発品と後発品がはっきりしていて分かりやすい」、「調剤ミスが減った」

棚番の移動によって習慣づいていたものがリセットされてしまい、調剤ミスが増えることを心配していたが実際に移動した後に調剤ミスが増えることはなかった。

### 【考察】

調剤時間の短縮要因として、薬効ごとに先発品と後発品に区別したことで視覚的に判断しやすくなったためと考えられます。

調剤ミスが少なくなった要因として、規格違いの薬剤が同じ引き出しにある場合、取り間違えが起こらないように並べて置かないことが重要と考えます。

棚移動をしても調剤ミスが増えるわけではないので、皆(新たに配属された人、ヘルプ、新人)が探しやすくなるように棚番の定期的な見直しが必要だと考えます。

顧客サービスを考え、常に薬局内環境をより良いものにしていきます。